

土づくり 7がつ



悩みを語りつくして、支えあつて

交通事故で遷延性意識障害となった北九州市在住の渡辺齋裕(としひろ)さん。今回は、家族の会九州「つくし」で、ご家族のサポートを中心に活動している母の渡辺クニ子さんにお話を伺いました。

★ 家族会について

2002年に息子の齋裕が交通事故に遭い、遷延性意識障害となりました。遷延性意識障害は以前、植物人間と言われていましたが、意思表示ができないだけで、意識は必ずある障害です。

息子は三年の入院を経て自宅に戻り、私が一人で見ていましたが、2008年、医師などの学会に出席できるということで、「全国遷延性意識障害者・家族の会」に入会しました。また同時期に、愛知県の藤田保健



渡辺さん御一家



★ 九州「つくし」の活動内容①

身内が遷延性意識障害になって困っている方は大勢います。皆さん、何をすればいいのか、状態が悪くなつたときに何かよい方法はあるかなど、様々な悩みを抱えています。そうした時に力になれるのが「つくし」だと思っています。私たちが今まで試行錯誤してここまでやってきました。だからお話を聞いて、相談に乗ることができると。どなたでも歓迎しています。

★ 九州「つくし」の活動内容②

コロナ禍の前は年2回、リハビリや口腔ケア、脳外科医の先生らを招いて、九州各地で講演会を開いていました。医学的なことはもちろん、アロマや音楽療法など、幅広く取り上げています。北九州市では市長に表敬訪問し、市が実行委員会になってくれて、テレビや新聞にも掲載されました。

一般の方にも参加してもらえらうように、パンフレットやポスターを配ったりしています。コロナ禍で今は中断していますが、会報を出して、生活や介護に役立つことを発信しています。メンバーと会えなくて寂し

★ 息子が事故に遭つて

当時息子は二十五歳。ファミリーレストランに勤めていて、夜中2時過ぎに帰宅したんですが、しばらくして息子の携帯電話の鳴る音が聞こえたんです。私は、今頃電話なんだと、そのまま眠ったんですが、突然、家の固定電話が鳴りました。息子さんの車種やナンバーは何ですかと。息子は家に居るものと思っていたのですが、どこにもいない。後で考えると、息子はもう一度出かけて、そこで事故に遭つたんです。分かったのは、高速での単独事故で、その時は怪我をしていなかった。けれどその直後に、止めていた車にトラックが突っ込み、息子は転がって脳挫傷を負つたということです。

★ 息子との生活

事故から二十年になります。事故直後は毎日、医師からもうだめだと言われていました。でも今、命があるんです。入院生活を経て家に戻つてからは十七年間、私が介護しています。ヘルパーさんにも当初から来てもらっていますが、週に2回、2時間ずつだけなので。その間、尿道感染を起こしたり、しよっちゅう熱が出て、肺炎になりかかったりと、いろんなことがありました。夜中に起きると息をしていなかったことも。

遷延性意識障害者のご家族が集まって結成した会で、当初は十二人ほどで始まりました。今では五十人を超えていて、九州だけでなく、広島や沖縄の方もいます。遷延性意識障害の原因は交通事故だけでなく、低酸素脳症や脳梗塞、脳出血など様々ですが、ご家族はみな同じ痛みを持つています。配偶者や子どもが生きるか死ぬかの瀬戸際、その時の状態は自分には分かりません。「つくし」はそんな人たちの集まりだから、お互い心が通じ合っている。心を合わせて活動しています。

息をしない人は、赤ちゃんみたいに軽
いんです。急いで呼び掛けて抱きかかえ
背中を叩いたり、鼻をつまんで息を吹き
入れ、呼吸を取り戻させました。そうい
う体験をしてきているので、とっさの場
合にどう対処するかがすぐ分かるよう
になりました。

大変なことも多いですが、例えば言葉を変
えるだけでも力が出ます。「介護して
いる」ではなく「介護させてもらって
いる」。この子がいるから介護させてら
える。生きていてくれるだけでいいと、
毎日感謝の気持ちで過ごしています。

☆ 斎裕さんの現在の生活

週4日デイサービスに通っています。そ
れ以外の日は訪問看護やリハビリを受
けています。立位の練習も十五年くらい
週一回は必ずしています。洋画が好きで、
テレビを見出してから笑ったり、しっか
りしてきました。

以前は人工呼吸器を付けていましたが、
2017年に咽頭分離手術を受け、事故
から十五年目に、ようやく食事ができ
るようになりました。初めは噛む力がな
かったんですが、歯科衛生士の助言で毎
日キシリトールのガムを噛ませるうち
に力もついてきて、今は何でもおいし
うに食べています。

☆ 親子後問題

皆さん、それで悩んでいます。生まれつ
き障害を持っている方には障害者施設
があります。途中で障害を負った場合、
その施設に入る権利がありません。親亡

き後、あるいは親が介護できなくなつた
ときに入れるのは病院だけです。

けれど一度病院に入ると、もう出られま
せん。リハビリもないので、身体も固まっ
てしまふし、胃腸での食事に逆戻りで
す。だから今、私が考えているのが、訪問
介護で24時間みてもらうということだ
す。そうすればリハビリも受けられるし、
食事もできます。

ただ、北九州市では重度訪問介護の事業
所が少ないです。重訪と記載されてい
ても、実際は行われていない。住宅だけ
です。だから私自身、最近まで重訪の制度
自体を知らなかったし、土屋に頼んでは
いるけれど、まだ来てもらえていない状
況にあります。我が家がスタートするこ
とで北九州市でも認知度を広めていき
たいですね。

☆ メッセージ

悩みがある人は一人で抱えこまずに、自
分から発信して飛び込んできてほしいで
す。そうしないと一人で悩んで、苦しま
ことになる。

やはり人とのつながりが大切です。私も
今までよい先生や仲間と巡り会ってきた
ことが転機になりましたし、今では友人
も全国にたくさんいます。新潟、仙台、千
葉、静岡、名古屋、広島…みな、他の人に
助けてもらいながら、今があるんです。
だから悩んでいた、話し相手がいたら
らと思っている人は、一人で悩まず、是非
私に連絡して来てください。



TOP 家族の会 九州『つくし』

電話番号などの連絡先

090-4511-1421(渡辺)

<https://kyusyutsukushi.wixsite.com/kyusyutsukishi>



広報・土づくりへの

ご意見・ご感想



今後取り上げてほしいテーマ、また株式会社土屋
の取組みについてのご意見もお寄せください。

ご意見・お問い合わせ窓口
client@care-tsuchiya.com



土屋 株式会社 土屋

本社：岡山県井原市井原町192番地2

久安セントラルビル2階

電話：050-3733-3443

あなご家族 ストレス解消法

皆さんには、悩みやストレスを吐き出せる場所やご自分なりの解消法がありますか？
今は皆何かしら悩み、ストレスを抱えている時代ですから、苦しい気持ちをどこにぶつ
けるのか、解消できる方法があるかどうかは大切なポイントです。中には専門の力ウ
ンセリングを受けている方もいらっしゃるでしょう。それも選択肢の一つですよ。

さて、仕事の悩み、子育ての悩みと言った比較的共感性のある悩みだけでなく、障害
や病気の事が出てくる悩みを持つと、例えばその悩みを友人に聴いて貰っても、同じ境
遇では無い場合、中々共感して貰えたり悩みを軽減する意見が聞けません。そもそも
解決策が無い悩みも多いです。では、その悩みから来る苛立ちをどこにぶつけるか？
そこが問題。身の周りに居る他人にぶつけて人間関係まで壊してしまうのは、ストレス
を増やします。世の中のストレスの大半は対人関係と言われています。ですから、私は
イライラ解消の為にクッションを犠牲にします。顔に押し当ててお腹の中から大きな声
で「わー!!」と何度も叫んで、其れで足りない時にはクッションを床に何度も叩きつけ
ます。傍にいる夫はとて驚き(脳性麻痺は、急な大きな音に弱いのです)ますが、他人
に害を与えず、費用も掛からず結構スッキリするんです。そして自分でもだんだん可
笑しくなつて笑つてしまいます。笑うと脳が騙されてストレスが減るそうです。スッキ
リした心と頭でその悩みを考え行動し上手く行く事もあります。もし皆さんにも「この
解消法がお勧め」というものが有つたら是非ご一報くださいね！ こともゆみこ